

2025年3月期 中間決算について

2024年 11月8日
JFE鋼板株式会社

2024年9月中間期の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前期増減率)

連結経営成績

	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%			
2024年9月中間期	37,338	0.6	3,462	-	2,255
2023年9月中間期	37,099	△ 7.3	2,314	-	1,557

注 連結子会社数 2024年9月中間期 5社、2023年9月中間期 5社

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前期増減率)

(参考)単体経営成績

	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%			
2024年9月中間期	32,686	0.7	3,341	-	2,216
2023年9月中間期	32,441	△ 8.3	2,210	-	1,568

【当中間期の概況と損益】

当中間期の国内薄板建材需要は、住宅分野・非住宅分野ともに資材高騰や人手不足などの要因から厳しい状況が継続しています。このような環境下においても、特徴のある商品へのニーズを着実に捕捉したことにより、連結売上高は37,338百万円(前年同期比+239百万円、+0.6%)と僅かではありますが増収となりました。

連結損益は、環境に優しいクロメートフリーカラー鋼板「Jクラフト®」や独自技術「ガルフレックス®」の積極販売による高付加価値製品比率のアップ、建材商品「ジョイント立平®」等の受注増による建材事業の増収増益および徹底した製造コスト・経費削減に努めたことにより、経常利益は3,462百万円(前年同期比+1,148百万円)、当期純利益は2,255百万円(前年同期比+698百万円)となりました。

【当期の見通し】

国内薄板建材需要は、先行きの不透明感がより強くなっています。また、不安定な海外鉄鋼市況の影響もあり、鋼板市況および需要動向に対する一層の注視が必要であると認識しています。
このような経営環境において以下の施策を推進します。

- カラー鋼板、特に環境に配慮したクロメートフリー鋼板とともに、当社の独自技術で曲げ加工部の耐久性を向上させた「ガルフレックス®」についても、引続き積極的な販売活動を展開します。
- 当社の特色ある建材商品を組み合わせた「災強パッケージ」の提案活動を推進するとともに、頻発する大型台風等の被害を抑える効果が期待できる高強度折板屋根「Jロック500®」、「タイトロック®500」の販売を強化します。
- 品質および操業の安定化、高騰が続く原材料・エネルギーの継続した原単位削減とともに、物流コストについても積載率向上・出荷量平準化や納入条件緩和による効率化に取り組みます。
- お客様には当社の状況にご理解いただき、製品価値や原料・エネルギー・物流等の物価水準に見合い、再生産可能な適正販売価格の実現を目指します。

以上